

市民リポーター

次に大館市の農業について、市農林課の成田課長、安部課長補佐、大森係長からお話を伺いました。

1. 大館市の農業の現状はどうなっていますか？

農業が主要産業である大館市は、稲作を中心として、施設園芸（平成五年から八年までに設置されたパイプハウスは百五十九棟）、リンゴ、ナシが主流の果樹、また徳用作物の葉タバコ、ホップが生産されています。最近、若干低迷している畜産を含めて、大館市の農業経済の根幹をなしています。



熱心に話を伺う石垣リポーター

2. 後継者育成のための支援対策は？

かし、これらの所得や生産性は必ずしも高くない状況にあります。特に米は、生産者米価の大幅な値下げ、さらに転作面積の拡大などから農家はもとより、市の経済にとっても深刻な問題となっています。また全国的な現象として、担い手不足や高齢化・婦女子化に加え、EU（欧州連合）の農業合意による畜産物価格の国際競争化など、農業を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。

支援対策は？

農業生産を主体的に担う営農技術と経営能力を有する、認定農業者の育成、消費者ニーズにこたえる戦略作物の銘柄化、農産物の商品開発など、若者に魅力ある施策に取り組んでいます。

具体的には
(1) 企業感覚を有する意欲ある後継者の確保に努める。

(2) 現在、九十人いる認定農業者を組織化し、農地・労働力など有効に活用

しうる農業生産システムを構築していく。

(3) 大型農園化、大型機械化の推進をする。

(4) 若い農業者の意見を反映した（仮称）法人組織「農業公社」を設置するなどです。

3. 女性農業者にどんな

ことを期待しますか？

埼玉県が最近調査したところによると、直売施設が全国で一万一千三百五十六カ所を超えていることがわかりました。これは、女性起業者の企業感覚の高まりと相まって、農業に汗を流す女性が目立つようになったからだと思います。このことから、農業経営や農家生活の面において、十分役割が果たせるよう学習の場を設けていきたいと思えます。さらには、現在当市から誕生している三人の女性農業者や各種女性の団体グループのリーダーを中心に、女性の地位向上に向けて、手助けしていきたいと考えております。今後は、女性農業者は、農業はもちろん家庭においても優れた経営と起業感覚を持つことを期待します。さらには、都市と農村の交流活動、地域特産物の振興と地域おこしに力を発揮してほしいと考えます。



左から成田課長、安部課長補佐、大森係長

終わりに

今回、初めて実施された中山間地域活性化視察研修会は、大変好評でした。このような研修は、ぜひ続けてほしいと思います。

最後にご多忙の中、取材に際していただいた農林課の皆さんありがとうございました。今後ともどうぞよろしく申し上げます。